

カイオム・バイオサイエンス (TYO: 4583)

増収、赤字縮小。創薬・創薬支援のいずれも着実に進捗中

◇ 2025年12月期1Q決算ハイライト：増収、赤字縮小

カイオム・バイオサイエンス（以下、同社）が2025年5月12日に発表した2025年12月期1Q決算は増収、赤字縮小となった。売上高1.3億円（前年同期比7%増）、営業損失2.6億円（同損失3.2億円）、経常損失2.6億円（同損失3.0億円）、当期純損失2.6億円（同損失3.0億円）である。

収益の基盤である創薬支援事業においては既存顧客からの案件が着実に推移していることに加えて、高額設備費の減少により研究開発費が削減されたことから損益が改善している。セグメント別には、創薬事業は赤字縮小、創薬支援事業は増収増益となり、全体として概ね想定通りと見られる。

貸借対照表に大きな変動はない。

◇ 事業進捗：2事業いずれも進捗中

創薬事業については、自社パイプラインであるCBA-1205とCBA-1535の第1相試験が順調に進んでいる。

CBA-1205に関しては、前半パートで投与されたメラノーマの患者1例について投与期間が45ヶ月を超えており腫瘍縮小を伴う安定評価が継続している。現在進行中の後半パートでは、肝細胞がんで1例の部分奏功を確認できていることに加え、メラノーマの患者群への投与も進められており、さらに、新たに肝芽腫を初めとする小児の神経内分泌がんの臨床試験を追加設定する検討がなされている。

CBA-1535に関しては、現在前半パートが継続している。開発上の懸念を示すような安全性にかかわるデータはなく、本抗体のコンセプトであるT細胞活性化を示すパラメーターに反応が見えつつあることは前回同様である。同社は前半パートの試験データをもって導出する可能性も見据えていることも従来同様である。

創薬支援事業については、先に述べたとおり既存顧客とのビジネスが堅調に推移していることに加えて、昨年度後半に提携を結んだメルク社および富士フィルム和光純薬と契約に基づき新規の抗体作成受託案件も着手された。

また、2025年5月には持田製薬と主にタンパク質調製等に関わる委受託基本契約を締結している。

新たにはじまったIDD（Integrated Drug Discovery）ビジネスについては、2024年6月におけるキッズウェル・バイオ社との業務提携、2025年3月のエスアールディ社との業務提携に加えて、2025年5月には、アルフレッサ ホールディングス社、キッズウェル・バイオ社と3社共同で厚生労働省「医療施設等施設整備費補助金（バイオ後続品国内製造施設整備支援事業）」に係る公募に申請を行い、2025年5月21日付で採択されている。さらに台湾のバイオ医薬品製造受託機関である Mycenax Biotech Inc. を加えた4社の協働によりバイオシミラーの原薬・製剤製造施設の国内候補地での整備を行い、当該施設でのバイオシミラー等の製造に取り組む予定である。これに関連し、キッズウェル・バイオ社およびMycenax Biotech Inc. との間で新規バイオシミラーの開発に関する Master Service Agreement を締結したことも2025年5月26日に開示されている。国内でのバイオシミラー事業の基盤づくりにつながることを期待される。

◇ 2025年12月期通期業績予想：創薬支援事業の通期売上高予想5億円を維持。

同社は創薬支援事業の通期売上高予想のみを開示しており、新年度は5.0億円（前年度比0.8億円減）としている。今回この金額に変更はない。

1Q決算アップデート

ヘルスケア

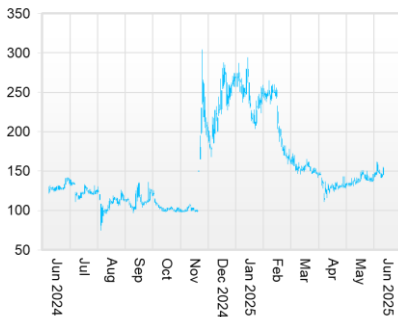
2025年6月11日

株価(6/10)

154円

52週高値/安値	145/155 円
1日出来高(3ヶ月)	1,404.2 千株
時価総額	104 億円
企業価値	80 億円
PER(25/12会社予想)	- 倍
PBR(24/12実)	5.96 倍
予想配当利回り(25/12)	- %
ROE(24/12)	-66.8 %
営業利益率(24/12)	-132.0 %
ベータ(5年間)	0.2
発行済株式数	68.053 百万株
上場市場	東証グロース

株価パフォーマンス



%	1M%	3M%	12M%
Share price	11.59	-0.65	25.20
Japan TSE TOPIX	1.93	2.87	1.13

注目点

自社開発品であるCBA-1205およびCBA-1535などのライセンスが成約し、なるべく早期に単年度黒字化を実現できるか。

その後においても、ライセンスが継続するか、既導出品のマイルストーン収入および創薬支援事業・バイオシミラー事業・IDDビジネスの収益貢献が同時並行的に寄与し、収益源の最大化・多文化・安定化が進んで、企業価値の最大化にどのように結びつくのか。

カイオム・バイオサイエンスはOmega Investment Limitedの顧客であり、同社の依頼を受けてレポートを作成しています。詳しくは、最終ページのディスクレーマを参照ください。



◇株価動向と今後の注目点

同社の株価はPFKRのライセンス契約の報を受け300円を超える水準まで上昇後、2024年12月期決算発表（2025年2月13日）において2025年12月期単年度黒字化という目標が見直されたため、株価は軟調に推移した。この結果、4月上旬までじり安になったが、その後は着実に底固めをしてじり高に推移し、1Q決算の発表後もおおむね140円～150円のレンジで安定的に推移している。

足元のこのような株価の推移から推察すると、創薬パイプラインの導出価値最大化に向けて治験計画を柔軟かつ適切に進めていること、創薬支援事業が安定していること、IDDビジネスを立ち上げ矢継ぎ早に契約を締結し収益源の多元化と安定化にむけて布石が打たれていることをポジティブに評価しはじめているといえそうだ。

当面の注目点は従来同様、（１）PFKRのライセンス契約に続き、自社開発品であるCBA-1205およびCBA-1535などの導出が成功するか、その経済条件は十分なものか、（２）早期に単年度黒字化を実現できるか、（３）バイオシミラーをはじめとするIDDビジネスのアップサイドポテンシャル、などである。創薬パイプラインの開発について気が熟しつつあること、事業展開が多面的になっていることから、今後のニュースの重要性が高まっていきそうだ。

会社概要

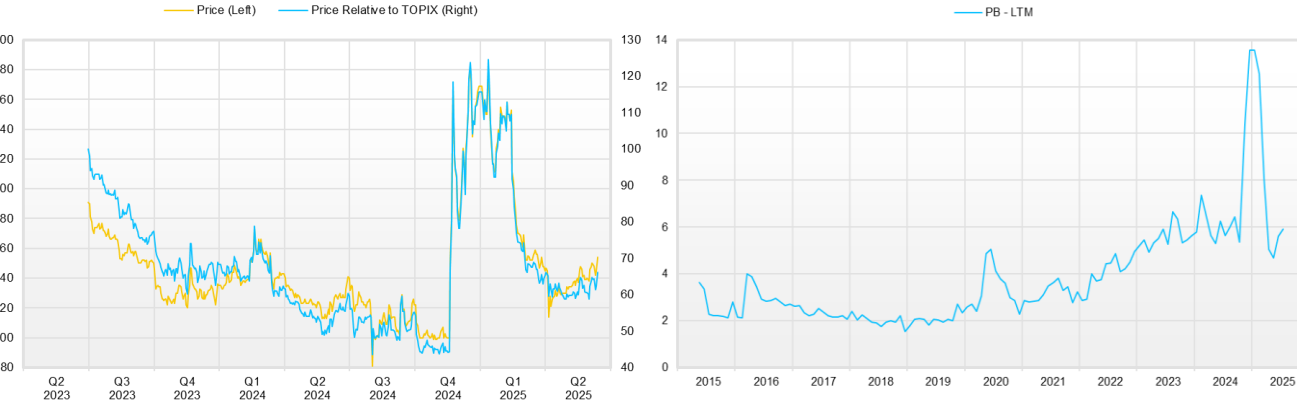
株式会社カイオム・バイオサイエンス（以下、同社）は、独自のADLib/Tribodyの技術に立脚した抗体創薬開発でアンメットニーズに応えるパイオベンチャー企業。創薬事業（アンメットニーズの高い疾患領域における抗体創薬の自社開発または共同開発を行い、その成果物である抗体に関する特許権等の知財権を製薬企業等へ実施許諾し、契約一時金、マイルストーン、およびロイヤリティ等の収入を獲得していく事業）を成長の柱と据えており、10品目程度のパイプラインを抱え、うち3品目が臨床段階にあり、2024年11月には前臨床のプログラム1件をライセンスアウトした。また、これを補完する事業として創薬支援事業（主として国内製薬大手企業に対して当社の保有する抗体創薬技術プラットフォームを活用した抗体作製・抗体エンジニアリングおよびタンパク質調製を提供する高付加価値型受託研究ビジネス）で実績を築いており、さらにバイオンミラー事業、IDDビジネスへの展開も開始している。

主要財務データ

単位: 百万円	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12 会社予想
売上高	481	713	631	682	781	NA
EBIT（営業利益）	-1,284	-1,334	-1,259	-1,205	-1,031	NA
税引前収益	-1,291	-1,466	-1,238	-1,215	-1,018	NA
親会社株主帰属利益	-1,294	-1,480	-1,243	-1,220	-1,021	NA
現金・預金	2,686	1,791	1,727	1,326	2,063	
総資産	3,495	2,339	2,215	1,751	2,469	
債務合計	291	291	291	291	282	
純有利子負債	-1,035	-1,035	-1,035	-1,035	-1,782	
負債総額	385	446	425	594	549	
株主資本	1,158	1,158	1,158	1,158	1,920	
営業活動によるキャッシュフロー	-1,360	-1,131	-1,191	-1,069	-1,001	
設備投資額	0	0	0	0	0	
投資活動によるキャッシュフロー	-4	-35	0	0	0	
財務活動によるキャッシュフロー	1,944	271	1,127	667	1,738	
ROA (%)	-41.06	-50.73	-54.57	-61.51	-48.37	
ROE (%)	-45.15	-59.16	-67.48	-82.76	-66.33	
EPS (円)	-36.1	-36.7	-28.3	-24.6	-17.5	
BPS (円)	78.7	46.4	37.0	22.0	28.7	
一株当たり配当(円)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
発行済み株式数 (百万株)	58.28	58.28	58.28	58.28	66.97	

出所：同社資料よりOmega Investment 作成、小数点以下四捨五入

株価推移





四半期トピックス

トピックス



**CBA-1205の有効性を期待できるがん種として追加した
メラノーマ群の症例登録を推進**
⇒さらに、小児がんパートの追加を検討

CBA-1535の安全性および薬効シグナルの確認に向けて治験期間を延長
⇒早期の導出等の可能性も見据える

**自社抗体関連技術及び抗体創薬の経験に基づくビジネス機会の拡大により、
当社の知識経験（Intelligence）を収益化するIDD* ビジネスの推進**
⇒エスアールディー社との業務提携契約を締結

*: Integrated Drug Discovery

**キッズウェル・バイオ社との業務提携に基づき、
第3のパートナー候補企業と
新規のバイオシミラー医薬品の開発等に向けた協議の推進**

**創薬プロジェクトの拡充と早期導出機会の探索
製薬企業との各種協議を継続中**

Copyright © 2025 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

出所：同社資料

2025年12月期_事業進捗ハイライト



創薬事業 - 自社パイプライン

CBA-1205	✓ 臨床第1相試験前半パートで登録されたメラノーマ（悪性度の高い皮膚がんの一種）の患者さんで腫瘍縮小を伴うSD（安定）評価が続き45ヶ月を超えて長期継続投与中。
	✓ メラノーマパートの症例登録推進、小児がんパート追加検討。
CBA-1535	✓ 固形がんの患者さんを対象に段階的に用量を上げながら、安全性と初期の有効性を評価中。現時点では安全性に関して重大な懸念なし。
	✓ 本剤のコンセプトであるT細胞の活性化を示す血中バイオマーカーの変化が見え始めている。
創薬プロジェクト	✓ 前臨床段階にある複数の創薬プロジェクトの導出活動を継続。
	✓ 新たなパイプラインの拡充、および製薬会社とのコラボレーションの推進。

IDDビジネス

業務提携	✓ SRDとの業務提携契約締結により、創薬ベンチャーにおける抗体創薬シーズに対するコンサルティングサービスを提供。
バイオシミラービジネス	✓ キッズウェル・バイオ社と業務提携契約に基づき、パートナー候補企業と新規のバイオシミラー医薬品の開発等に向けた協議を推進。

創薬支援事業

製薬企業等との取引	✓ 2025年1Qの売上高は138百万円、前年同期比増収増益。
	✓ メルクおよび富士フイルム和光純薬と業務提携契約に基づき、抗体作製受託の新規案件に着手。

Copyright © 2025 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

出所：同社資料

四半期トピックス

主要パイプライン（抜粋）



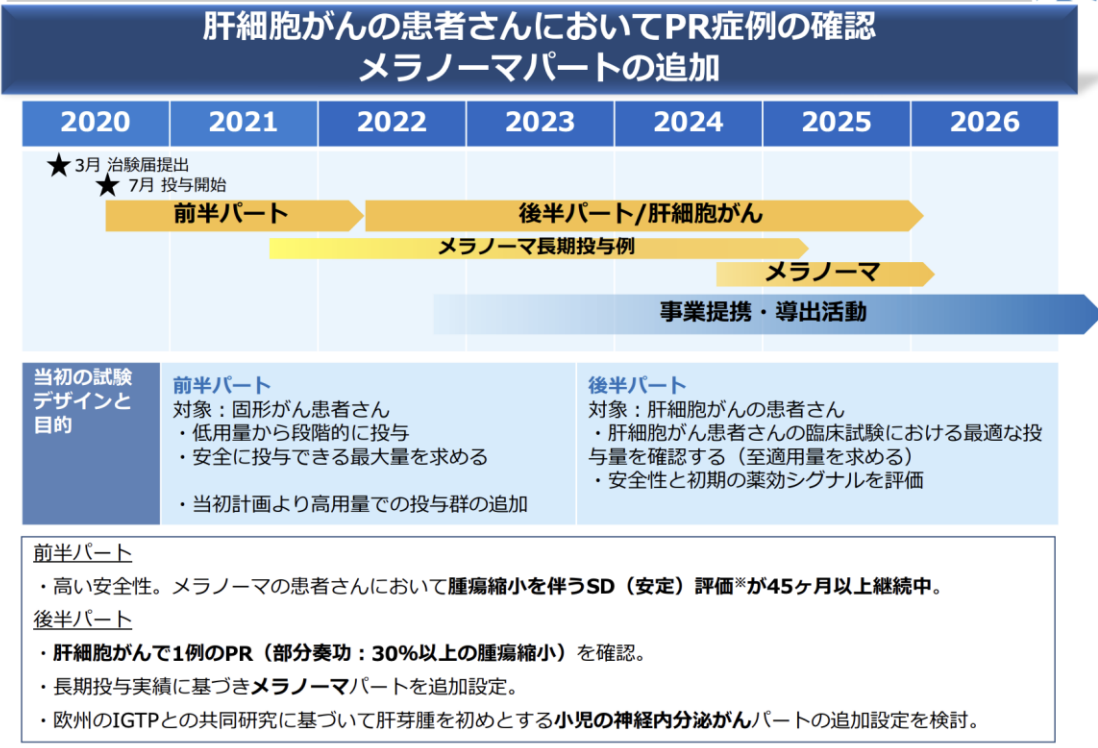
★ ファーストインクラス
★★ 世界初の創薬モダリティでの臨床入り

開発コード	標的分子	疾患領域	ステータス
★ CBA-1205 (ADCC enhanced)	DLK-1	がん	第1相試験中 (jRCT2080225288) (NCT06636435)
★★ CBA-1535 (Tribody®)	5T4×CD3×5T4	がん	第1相試験中 (jRCT2031210708)
★ PCDC (ADC)	CDCP1	がん	非臨床試験中
PTRY	5T4×CD3×PD-L1	がん	非臨床試験中
PXLR	CXCL1/2/3/5	がん	非臨床試験中
PFKR	CX3CR1	自己免疫性 神経疾患等	2024年11月 旭化成ファーマへ導出

※上記以外のパイプラインについては、引き続き成果創出に向けて取り組み、適宜進捗をご報告いたします。2025年3月31日時点

出所：同社資料

CBA-1205：臨床開発



出所：同社資料



四半期トピックス

CBA-1535 : 臨床開発



CBA-1535臨床第1相試験の前半パートが進行中



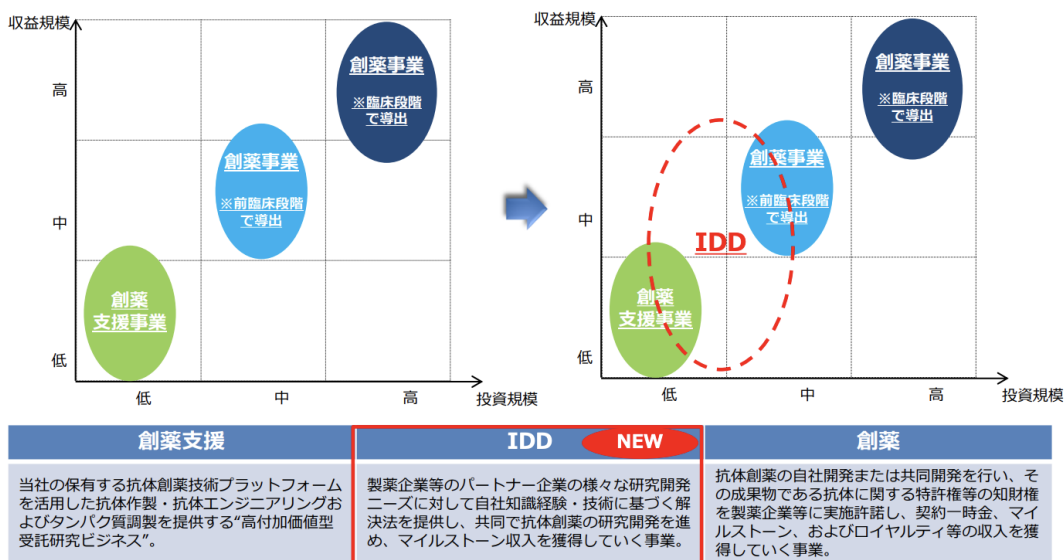
出所：同社資料

新規事業の立ち上げ



IDDビジネス（抗体創薬にかかるプラットフォーム型ビジネス）を立ち上げ、2025年以降の事業展開における収益力の強化とそれによる経営基盤の安定化を図る。

創薬事業/創薬支援事業のリスク/リターン



Copyright © 2025 Chlome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

出所：同社資料



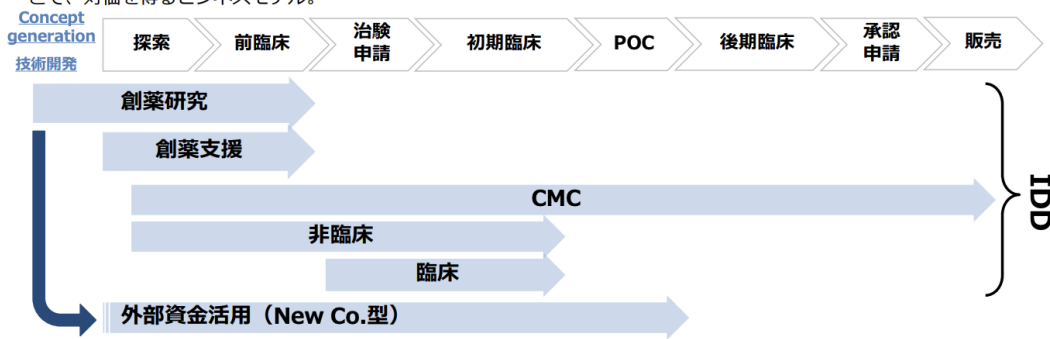
四半期トピックス

カイオムの知識経験（Intelligence）をマネタイズするIDD型事業



抗体創薬のプラットフォームビジネス

抗体創薬のプロジェクトをスクリーニング、in vitro/vivo評価、CMC、IND、初期臨床までを一気通貫で対応可能なプラットフォームを構築。カイオムの創薬研究開発の経験知識・技術を元に、パートナーに様々な課題解決法を提供する。国内企業を中心に専門性不足・リソース不足により未着手となっている有望な抗体創薬研究に関するコラボを推進することで、対価を得るビジネスモデル。



国内企業を中心に専門性不足・リソース不足により未着手となっている有望な抗体創薬研究に関するコラボを推進

製薬会社

多様化するモダリティの中で、個別モダリティの専門性の維持確保が困難に

スタートアップ

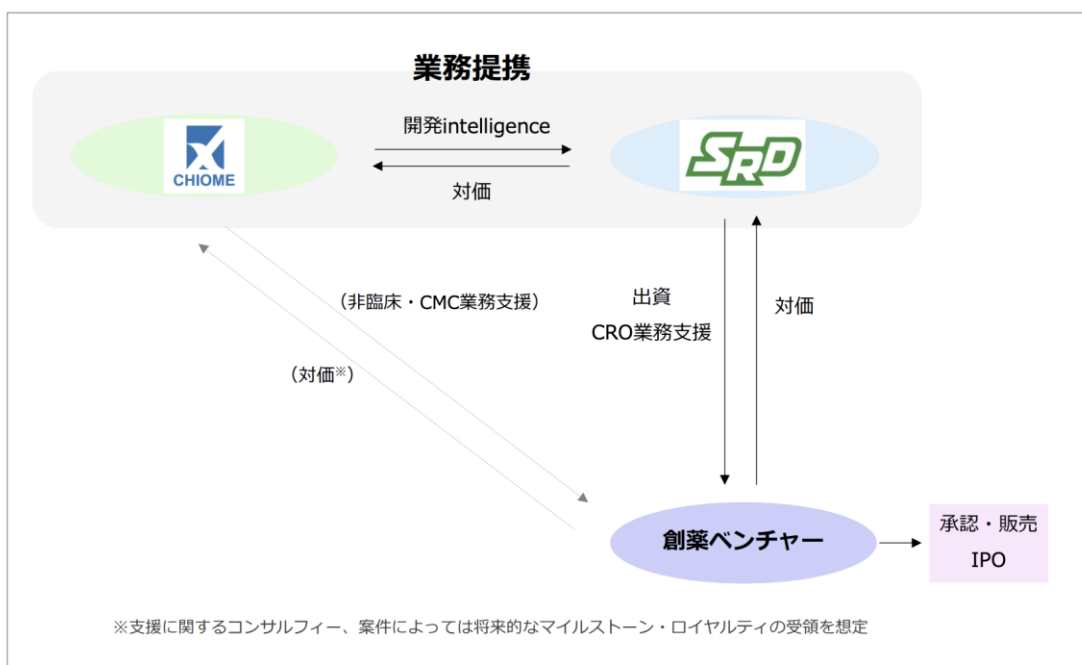
適切な開発ステップの実行能力を各社で個別に整える事には限界がある

Copyright © 2025 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

17

出所：同社資料

開発コンサルおよび創薬インキュベーションのビジネスモデル



出所：同社資料



四半期トピックス

PR 情報

2025 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小池 正道
(コード：4583 東証グロース)

持田製薬株式会社との委受託基本契約締結に基づく協業のお知らせ

この度、当社は、持田製薬株式会社（以下「持田製薬」）との間で、主にタンパク質調製等に関わる委受託基本契約を締結し、両社の研究チームが連携して本契約下での業務を推進していることをお知らせいたします。

本契約下で当社は、持田製薬に対して抗体・抗原などの組み換えタンパク質の調製業務等に関する当社の技術力やノウハウを提供することで、同社のアンメットメディカルニーズを満たす創薬の研究開発を支援いたします。

なお本件にかかる対価は創薬支援事業の売上として計上されることとなりますが、2025 年 12 月期業績に与える影響は軽微と想定しております。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

出所：同社資料（抜粋）

2025 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小池 正道
(コード：4583 東証グロース)
問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦
(TEL. 03-6383-3561)

厚生労働省「バイオ後続品国内製造施設整備支援事業」助成対象事業者に採択 並びにバイオシミラー事業推進における協働のお知らせ

当社は、アルフレッサ ホールディングス株式会社（以下「アルフレッサ ホールディングス」）、並びにキッズウェル・バイオ株式会社（以下「キッズウェル」）と、厚生労働省「医療施設等施設整備費補助金（バイオ後続品国内製造施設整備支援事業）」（以下、本助成事業）に係る公募に 3 社共同で申請を行い、2025 年 5 月 21 日付で採択されましたのでお知らせします。

採択を受け、これら 3 社に当社の取引先で台湾のバイオ医薬品製造受託機関である Mycenax Biotech Inc.（以下「MBI」）を加えた 4 社の協働により、本助成事業の目的であるバイオ後続品（以下「バイオシミラー」）の原薬・製剤製造施設の国内候補地での整備を行い、当該施設でのバイオシミラー等の製造に取り組んでまいります。

出所：同社資料（抜粋）



四半期トピックス

2025 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 小池 正道
(コード：4583 東証グロース)
問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦
(TEL. 03-6383-3561)

Mycenax Biotech Inc. 並びにキッズウェル・バイオ株式会社との 新規バイオシミラーの開発に関する Master Service Agreement 締結のお知らせ

当社は、Mycenax Biotech Inc. (以下「MBI」) 並びにキッズウェル・バイオ株式会社 (以下「キッズウェル」) と、新規バイオシミラーの開発に関する Master Service Agreement を締結いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

出所：同社資料 (抜粋)



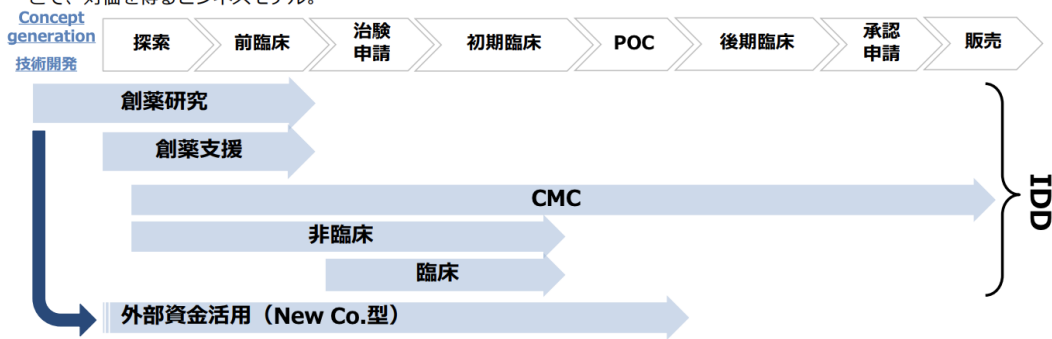
四半期トピックス

カイオムの知識経験（Intelligence）をマネタイズするIDD型事業



抗体創薬のプラットフォームビジネス

抗体創薬のプロジェクトをスクリーニング、in vitro/vivo評価、CMC、IND、初期臨床までを一気通貫で対応可能なプラットフォームを構築。カイオムの創薬研究開発の経験知識・技術を元に、パートナーに様々な課題解決法を提供する。国内企業を中心に専門性不足・リソース不足により未着手となっている有望な抗体創薬研究に関するコラボを推進することで、対価を得るビジネスモデル。



国内企業を中心に専門性不足・リソース不足により未着手となっている有望な抗体創薬研究に関するコラボを推進

製薬会社

多様化するモダリティの中で、個別モダリティの専門性の維持確保が困難に

スタートアップ

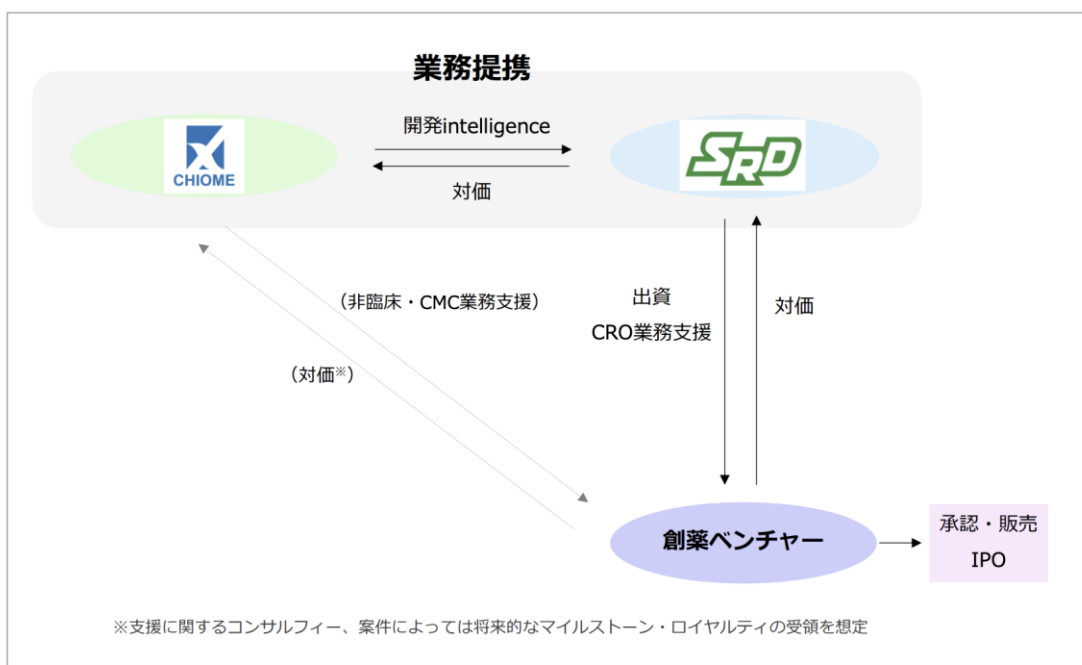
適切な開発ステップの実行能力を各社で個別に整える事には限界がある

Copyright © 2025 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

17

出所：同社資料

開発コンサルおよび創薬インキュベーションのビジネスモデル



出所：同社資料

財務データ I (四半期ベース)

単位: 百万円	2023/12期				2024/12期				2025/12期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
[損益計算書]									
売上高	169	189	165	158	130	134	159	358	139
前年同期比	31.8%	26.6%	6.2%	-19.6%	-23.5%	-29.2%	-3.8%	126.1%	7.0%
売上原価	73	77	67	67	73	56	74	145	58
売上総利益	96	113	98	92	57	78	85	213	81
粗利率	56.6%	59.5%	59.6%	57.8%	44.0%	58.0%	53.4%	59.5%	58.1%
販管費	322	546	344	391	379	337	425	323	345
EBIT (営業利益)	-226	-433	-246	-300	-322	-259	-340	-110	-265
前年同期比	-53.5%	48.0%	-5.4%	36.7%	42.6%	-40.2%	38.1%	-63.3%	-17.9%
EBITマージン	-133.4%	-228.6%	-149.0%	-189.3%	-248.5%	-193.1%	-213.9%	-30.7%	-190.7%
税引前収益	-226	-435	-254	-300	-303	-259	-351	-105	-265
当期利益	-228	-436	-255	-302	-304	-260	-352	-105	-266
少数株主損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親会社株主帰属利益	-228	-436	-255	-302	-304	-260	-352	-105	-266
前年同期比	-53.8%	56.5%	-0.7%	40.1%	33.5%	-40.4%	38.0%	-65.1%	-12.5%
利益率	-134.4%	-230.1%	-154.3%	-190.3%	-234.5%	-193.9%	-221.2%	-29.4%	-191.8%
[貸借対照表]									
現金・預金	1,566	1,245	1,342	1,326	1,325	1,104	1,241	2,063	1,819
総資産	2,086	1,686	1,753	1,751	1,754	1,557	1,694	2,469	2,205
債務合計	301	298	316	291	314	292	303	282	282
純有利子負債	-1,265	-947	-1,026	-1,035	-1,012	-812	-938	-1,782	-1,537
負債総額	524	541	542	594	506	487	478	549	443
株主資本	1,562	1,145	1,211	1,158	1,248	1,071	1,216	1,920	1,761
[収益率 %]									
ROA	-46.44	-62.98	-59.13	-61.51	-67.53	-69.09	-70.61	-48.37	-49.66
ROE	-60.83	-86.66	-79.25	-82.76	-92.28	-101.15	-100.30	-66.33	-65.33
[一株当り指標: 円]									
EPS	-4.7	-9.0	-5.2	-5.8	-5.6	-4.6	-6.1	-1.7	-3.9
BPS	32.3	23.6	23.9	22.0	22.4	19.0	19.9	28.7	26.0
一株当り配当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
発行済み株式数 (百万株)	48.42	48.50	50.01	52.19	55.40	56.39	61.24	66.97	67.77

出所：同社資料より Omega Investment 作成

財務データⅡ（通期ベース）

単位: 百万円	2015年 12月期	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期	2024年 12月期
[損益計算書]										
売上高	280	252	260	213	448	481	713	631	682	781
前年同期比	-24.4%	-10.0%	3.0%	-18.1%	110.3%	7.4%	48.3%	-11.5%	8.2%	14.4%
売上原価	225	228	94	107	167	238	292	283	285	348
売上総利益	55	25	166	106	281	243	421	348	398	433
粗利率	19.8%	9.7%	64.0%	49.6%	62.7%	50.5%	59.0%	55.1%	58.3%	55.4%
販管費	1,325	1,067	1,054	1,645	1,683	1,526	1,755	1,606	1,603	1,464
EBIT（営業利益）	-1,270	-1,042	-888	-1,539	-1,402	-1,284	-1,334	-1,259	-1,205	-1,031
前年同期比	10.0%	-17.9%	-14.8%	73.4%	-8.9%	-8.4%	3.9%	-5.7%	-4.2%	-14.5%
EBITマージン	-453.4%	-413.3%	-341.6%	-723.1%	-313.2%	-266.9%	-187.2%	-199.5%	-176.6%	-132.0%
EBITDA	-1,168	-929	-877	-1,532	-1,397	-1,280	-1,331	-1,257	-1,204	-1,030
税引前収益	-1,281	-1,501	-880	-1,531	-1,401	-1,291	-1,466	-1,238	-1,215	-1,018
当期利益	-1,283	-1,491	-883	-1,534	-1,404	-1,294	-1,480	-1,243	-1,220	-1,021
少数株主損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親会社株主帰属利益	-1,283	-1,491	-883	-1,534	-1,404	-1,294	-1,480	-1,243	-1,220	-1,021
前年同期比	11.5%	16.3%	-40.8%	73.8%	-8.5%	-7.8%	14.4%	-16.0%	-1.8%	-16.3%
利益率	-457.9%	-591.2%	-339.6%	-720.5%	-313.6%	-269.1%	-207.6%	-197.0%	-178.8%	-130.7%
[貸借対照表]										
現金・預金	4,100	4,553	4,027	2,329	2,106	2,686	1,791	1,727	1,326	2,063
総資産	4,919	4,789	4,419	2,831	2,808	3,495	2,339	2,215	1,751	2,469
債務合計	100	54	4	0	0	180	183	184	291	282
純有利子負債	-4,000	-4,499	-4,023	-2,329	-2,106	-2,506	-1,608	-1,543	-1,035	-1,782
負債総額	355	224	202	154	187	385	446	425	594	549
株主資本	4,564	4,565	4,218	2,677	2,622	3,110	1,893	1,791	1,158	1,920
[キャッシュフロー計算書]										
営業活動によるキャッシュフロー	-1,245	-970	-867	-1,689	-1,537	-1,360	-1,131	-1,191	-1,069	-1,001
設備投資額	168	11	5	0	0	0	0	0	0	0
投資活動によるキャッシュフロー	-1,780	1,989	-137	0	-26	-4	-35	0	0	0
財務活動によるキャッシュフロー	124	1,434	479	-10	1,341	1,944	271	1,127	667	1,738
[収益率 %]										
ROA	-22.95	-30.72	-19.17	-42.30	-49.79	-41.06	-50.73	-54.57	-61.51	-48.37
ROE	-24.69	-32.67	-20.10	-44.49	-52.99	-45.15	-59.16	-67.48	-82.76	-66.33
[一株当り指標: 円]										
EPS	-58.3	-65.9	-33.5	-57.3	-44.6	-36.1	-36.7	-28.3	-24.6	-17.5
BPS	207.0	179.3	157.5	99.9	78.8	78.7	46.4	37.0	22.0	28.7
一株当り配当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
発行済み株式数 (百万株)	22.05	25.31	26.78	26.78	33.28	39.51	40.31	48.42	52.19	66.97

出所：同社資料より Omega Investment 作成



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したものです。その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントのリサーチによるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。